ISSN 0919-4657

KONC

関西自然保護機構会報

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

18巻1号（通算31号）

特集●自然保護の背景としての環境教育



1996年6月
関西自然保護機構

表紙の言葉

岩本久則

この絵は，以前山岸先生とＮＨＫの番組にご一緒させて頂いた時，番組のために描いたものである。

あれから数年，ひょっとしたら十年を越しているかも知れない。

鳥によってはすでに何代も世代を交代しているやも知れぬ時間である。我もまた交代近いが，繁殖能力無きままどうにか生き延びているものの，既にシロガシラ。

当時の司会者松田輝雄さんは，今年退職。

そんな昔の，それも走り書きの絵を今掲載して頂くのは，堪だ恥ずかしい。さりとて今にいたるもなんの向上もない身にとって，今改めて描き直しても「同じじゃないか」と言われそうでこれまた恥ずかしい。

それはともかく，環境だ，エコロジーだと言われるようになって久しいけれど，結局最後まで取り残され，忘れ去られるだろうのが野生生物で，日本人はトキ一種守ることさえ出来なかった。そればかりかその反省さえないことがもっと哀しい。

個人の力は弱く，さりとて官は駄目，民の団体も既に駄目では，宜なるか。

バードワッチングは，その延長線にこれら最悪からの脱出に繋がる線だと信じて来たが，時間が経ってみると，バードワッチングだけで完結する完結型の楽しみになっていた。

これもやや哀し。

と，ぐちるは老境の兆し。これもっと哀しい。

あの日，山岸先生，スタジオ中にアルコールを発散しておられました。

あーこれいと嬉し。

関西自然保護機構（ＫＯＮＣ：Kansai Organization for Nature Conservation）

ＫＯＮＣはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

ＫＯＮＣはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現代，次のような活動をしています。

1．　基礎研究の実施
2．　シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．　現地見学会の開催
4．　研究助成金の交付
5．　会報・連絡紙の発行
6．　自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．　自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．　国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・推持会員の会費により，まかなわれています。